2025 年 4 月16日
NTT セキュリティ・ジャパン株式会社

NEWS RELEASE

情報システム担当者 818 人に聞いた！

「MDR&IR 利用実態調査（2024 年）」を発表

NTTセキュリティ・ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：関根　太郎、以下 NTTセキュリティ・ジャパンもしくは当社）は、従業員数 500 名規模以上の企業の情報システム担当者 818 名を対象とした MDR および IR の利用実態調査のレポートを発表します。

調査背景

近年、サイバー攻撃の手法が高度化・多様化しており、特にランサムウェア攻撃やフィッシング攻撃の増加が顕著であり、企業はより高度なセキュリティ対策、セキュリティ体制強化が急務となっています。さらに、クラウドサービスの利用が増加に伴いクラウド環境におけるセキュリティ対策の重要性が増しています。

このような環境の中、多くの企業が自社内でのセキュリティ対策に限界を感じ、外部の専門サービスである MDR（Managed Detection and Response）を導入するケースが増えています。MDR は 24 時間 365 日の監視と迅速な対応を提供し、企業のセキュリティ体制を強化します。また、実際にサイバー攻撃が発生した際のより迅速な対応の必要性から、攻撃の被害を最小限に抑え、迅速な復旧を支援する IR（Incident Response）サービスの需要も高まっています。

MDR および IR サービスの導入が進む中、実際に MDR や IR を利用している、もしくは検討している担当者さまに、セキュリティ製品の導入状況、MDR および IR サービスの導入可否や選定理由、その効果などについて調査しました。

MDR&IR 利用実態調査レポートをダウンロード

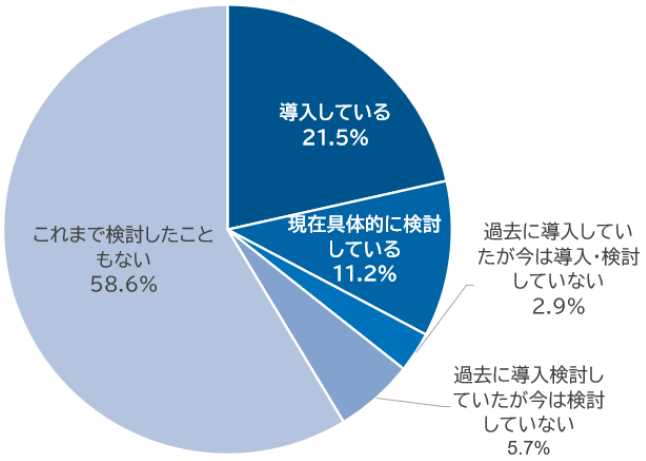
「MDR＆IR 利用実態調査（2024 年）」の概要

【調査方法】
・調査期間：2024 年 11 月 28 日～12 月 9 日
・調査方法：インターネット調査
・調査人数：818名
・調査対象：従業員数 500 名以上の規模の企業に所属している情報システム担当者
・モニター提供元：GMO リサーチ＆AI 株式会社
・調査機関： 合同会社 Allonz

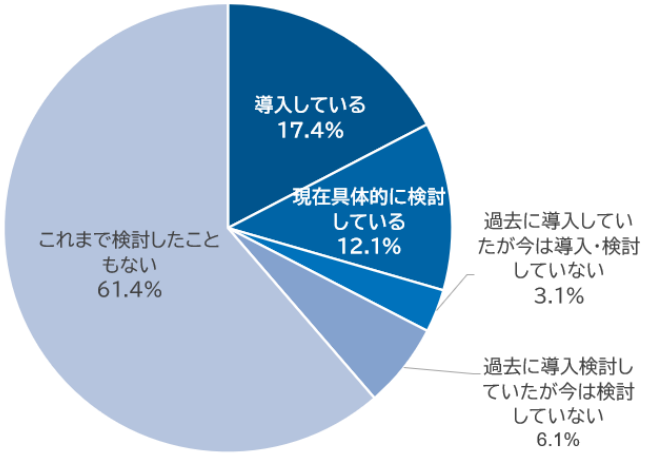
【質問項目】
・管理している PC 台数
・アンチウィルス製品を導入の有無
・EDR 製品を導入の有無
・社外アクセス製品（プロキシ/SWG など）を導入の有無
・社内アクセス製品（VPN/ZTNA など）を導入の有無
・アンチウィルス製品を選定した理由
・アンチウィルス製品導入後の課題や不満
・EDR 製品を選定した理由
・EDR 製品導入後の課題や不満
・社外アクセス製品（プロキシ/SWG など）を選定した理由
・社外アクセス製品（プロキシ/SWG など）導入後の課題や不満
・社内アクセス製品（VPN/ZTNA など）を選定した理由
・社内アクセス製品（VPN/ZTNA など）導入後の課題や不満
・MDR サービスを導入の有無
・MDR サービスの導入のきっかけ
・導入前に何を期待して MDR サービスを導入しましたか
・MDR サービスを導入して実際に得られた成果
・IR サービスを導入の有無
・IR サービスの導入のきっかけ
・導入前に何を期待して IR サービスを導入しましたか
・IR サービスを導入して実際に得られた成果
・MDR サービスや IR サービスを選定判断する際の重要な要素

TOPIX1：MDR サービス/IR サービスの導入率

MDRサービスを導入していますか？
（有効回答数:818）



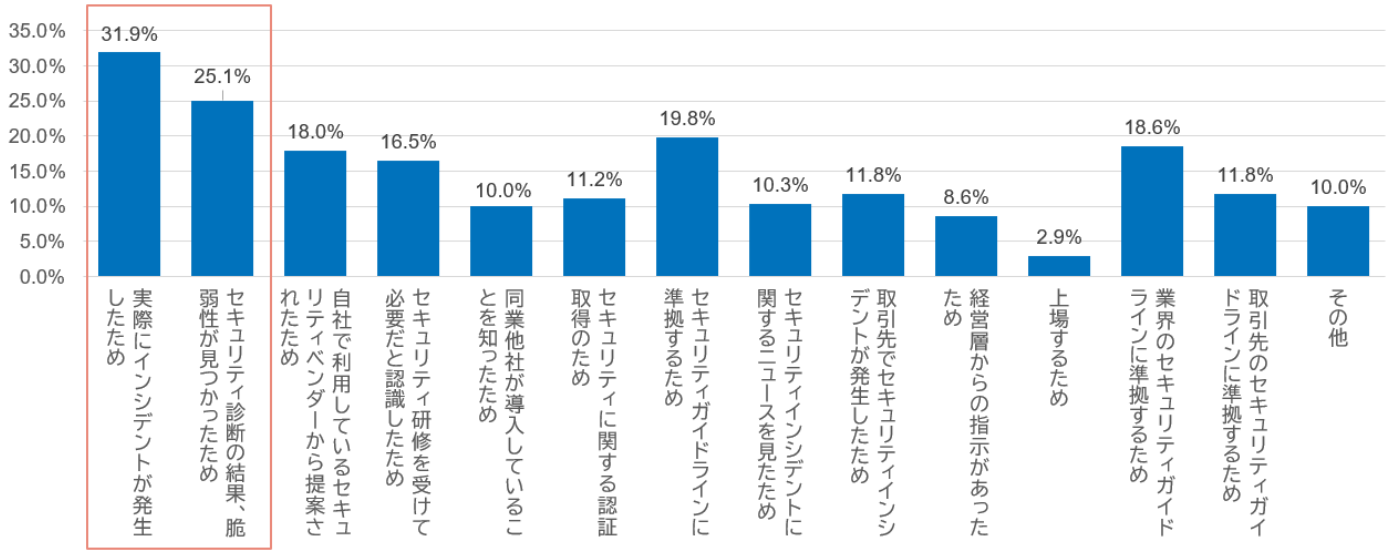
IRサービスを導入していますか？
（有効回答数:818）



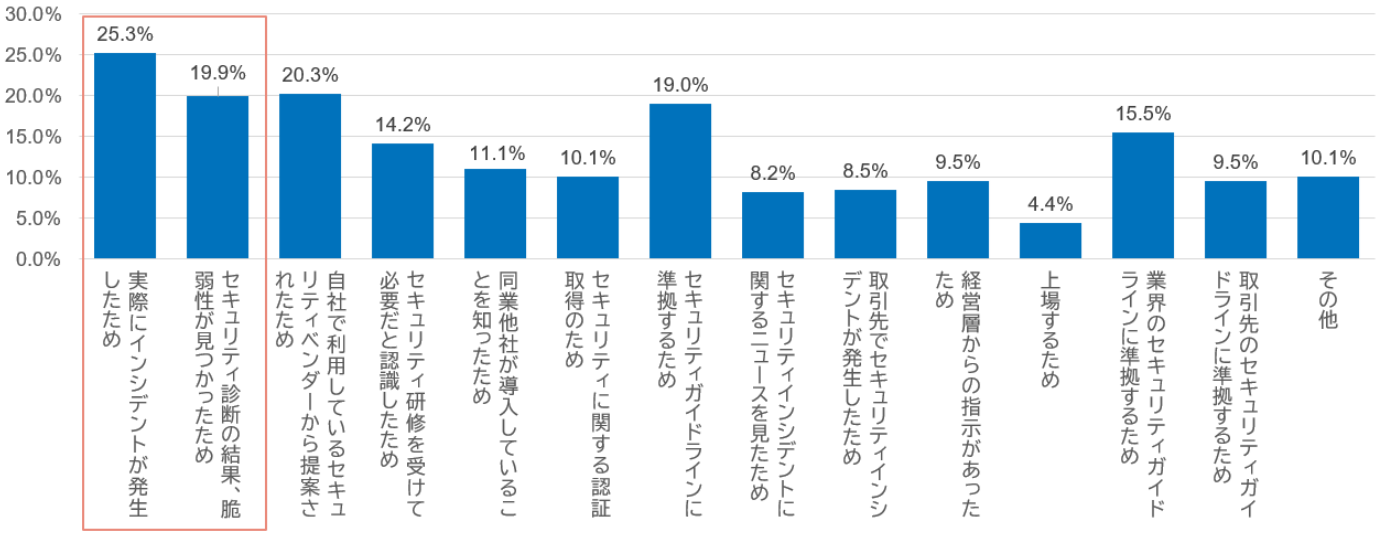
MDR サービスで 21.5%、IR サービスで17.4%と導入率はまだまだ低い結果となりました。

TOPIX2：MDR/IR サービスの導入のきっかけ

どのようなきっかけでMDRサービスを導入検討しましたか？
※複数回答可（有効回答数:339）



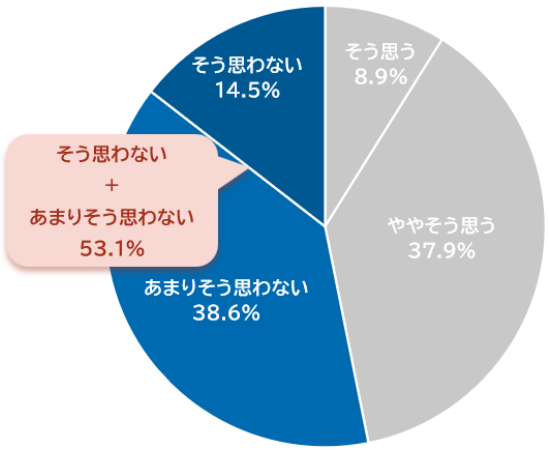
どのようなきっかけでIRサービスを導入検討しましたか？
※複数回答可（有効回答数：316）



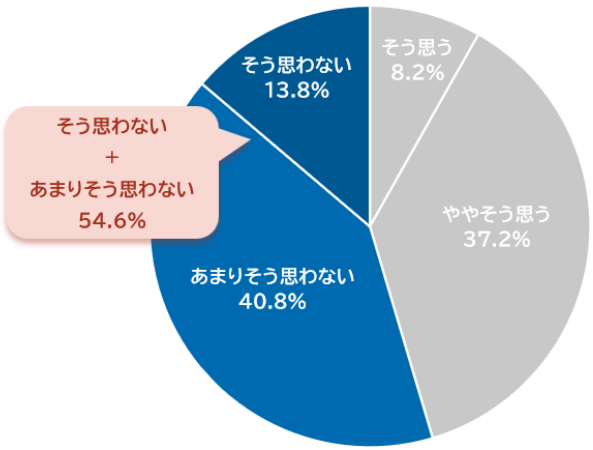
導入のきっかけで多かったのは「実際にインシデントが発生したため」、「セキュリティ診断の結果、脆弱性が見つかったため」でした。

TOPIX3： MDR サービス/IR サービス選定のポイント

- 信頼のおけるMDRサービスがあれば、追加でIRサービスを導入する必要はないと感じる
（有効回答数：818）

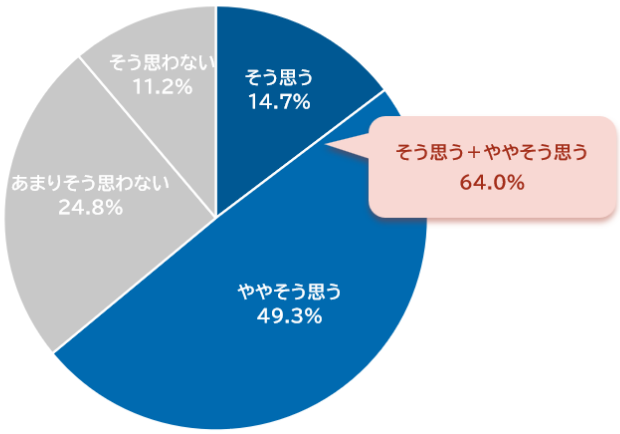


- 信頼のおけるIRサービスがあれば、特にMDRサービスを導入する必要はないと考える
（有効回答数：818）

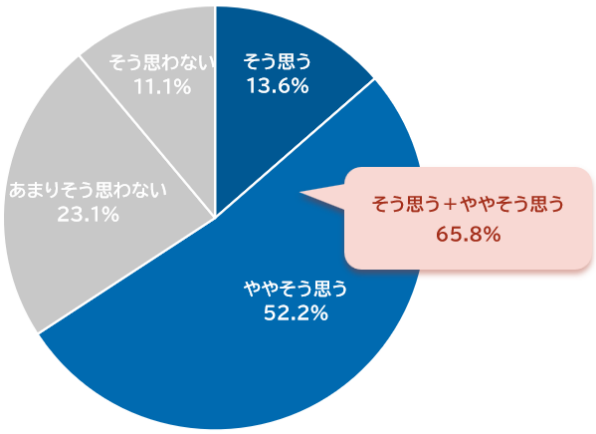


MDR、IR サービスのいずれか片方だけではなく、両方導入した方が良いという回答が半数以上でした。

- MDRサービスとIRサービスを同一ベンダーに統一することで、情報共有が迅速化し、インシデント対応の信頼性が向上すると感じる
（有効回答数：818）



- MDRサービスとIRサービスが同一ベンダーで提供され、専用のSOCルームなどで厳格に管理された環境下で双方作業し、連携・情報共有が行われることで、信頼性が一層高まると思う
（有効回答数：818）



また、MDR と IR サービスは同一ベンダーを採用したほうが、情報共有が迅速化し、インシデント対応の信頼性が向上するという回答が 6 割以上となりました。

●まとめ

MDR サービス/IR サービスの導入率はまだ高くないものの、「実際にインシデントが起きたため」に導入した企業が多くみられました。発生前にインシデントを防げなければ、システムやデータの被害拡大、顧客などのステークホルダーの信頼喪失、業務中断によるビジネスへの影響など多大な被害が考えられます。そうした被害を防ぐためにも、定期的に自社のセキュリティ状況を診断し、最新の脅威に対応できるツール導入の検討の必要性があるでしょう。
調査レポート全編では、セキュリティ製品の導入状況、MDR サービスや IR サービスの選定ポイントや導入後の成果などをまとめています。本調査結果が今後のセキュリティ対策強化の役に立てれば幸いです。

MDR&IR 利用実態調査レポートをダウンロード

当社について

NTT セキュリティ・ジャパンは、NTT グループのセキュリティに関わる高度な人財と研究開発成果、そして 20 余年以上にわたるサイバー脅威との戦いで磨き続けてきた独自のサイバーインテリジェンスと脅威検知・対応能力を結集した、サイバーセキュリティ専門事業者です。リスク予測から診断、防御、脅威検知、インシデント対応、復旧まで一貫した「プロアクティブサイバーディフェンスサービス」の提供により、お客様・社会を守り、安心・安全なデジタル社会の実現に貢献します。

【会社概要】

会社名　NTT セキュリティ・ジャパン株式会社
所在地　〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1

事業内容	マネージドセキュリティサービス セキュリティプロフェッショナルサービス（コンサルティング） セキュリティ対策提供サービス（機器及び保守）
代表	関根　太郎
株主	NTT セキュリティホールディングス株式会社（100%）
URL	https://jp.security.ntt/

【本件お問い合わせ先】
NTT セキュリティ・ジャパン株式会社
営業本部　マーケティング部
Email: nsj-pr@security.ntt